



P2

あずさマルシェ 安曇野産の朝採れ野菜を「特急あずさ」で新宿へ

P3

宮島右京さん(三郷支所共済普及課)県代表として3年連続3度目の国スポ出場決定!!

P8-9

～創立60周年記念事業～ JAあづみ2025フォトコンテスト

P12

お米の盗難注意について

安曇野産の朝採れ野菜を「特急あずさ」で新宿へ

安曇野市×あずさマルシェin LUMINE AGRI MARCHÉ



～安曇野から新宿に届くまで～



朝4時から収穫開始



箱詰めをして出発の準備をします



松本10:10発の特急あずさへ農産物を持ち込みます



新宿に12:42着 荷下ろしをします

イベントはJRと安曇野市、当JAが連携する「安曇野市×あずさマルシェin LUMINE AGRI MARCHÉ」。安曇野の農産物のおいしさを広め、農家所得の増加につなげると同時に、観光地・移住地としての魅力を発信しようと市が企

画。3者の取り組みは4年目となります。(株)ルミネの農業プロジェクト「ルミネアグリプロジェクト」などとも連携しました。最終日は太田寛市長と当JAの宮澤清組合長、スイートコーンの生産者である曾根原章人さんが店頭立ち、直接消費者に販売。2日間でスイートコーン1497本、ブドウ106房、りんご576玉、ブルーベリー50パックを販売し用意された全数が完売するなど、レジ通過者も693人にのびりました。

JA青壮年部も同イベントで、安曇野生まれの夏秋イチゴ「あまあづみ」や桃、梨、ジャムなどを販売。6月にはJR東日本の社員が、青壮年部員の果樹園で出品する桃の袋かけを行う農

作業支援を行い、農産物生産の過程から携わってきました。宮農経済事業部農業企画課の吉澤大和課長は「4年目を迎えてマルシェを楽しみに訪れる人も増えてきた。今後も、様々なイベントを通じて安曇野産の農畜産物をPRしていきたい」と話しました。



消費者の方に届きました

宮島右京さん(三郷支所共済普及課)県代表として 3年連続3度目の国スポ出場決定!!



最速145^{km/h}の直球を武器に

J A あづみ三郷支所共済普及課の宮島右京さん(30)はその実力と安定した成績が評価され、3年連続で国民スポーツ大会軟式野球競技の長野県代表に選ばれました。競技は滋賀県内の6つの野球場で10月4日～7日の日程で開催されます。

宮島さんは勤務後の限られた時間の中で週2～3回の筋力トレーニングや、所属する社会人クラブチーム「FREE TIBET」での実戦、8月末から毎週日曜日に「チーム長野」で行われている、強化練習に取り組みながら大会当日に向けて調整を進めてきました。

宮島さんはお兄さんの影響もあり小学2年生の春から、地元のリトルリーグで野球を始め、中学・高校・大学まで硬式野球を続け、2018年4月に入組。同J A 野球クラブに所属しながら社会人クラブチームにも所属し実戦経験を積み重ねています。入組当時、130^{km/h}前半だった最高球速も今では145^{km/h}にまで到達。県代表との情報交換や動画配信サイト「YouTube」を活用するなど練習方法にも工夫を凝らします。

宮島さんは「自分の力を最大限発揮できるよう、当日に照準を合わせ万全の状態です試合に臨みたい」と意気込みました。

宮澤英樹三郷支所長は「本当に素晴らしい球を持っており、尚且つ鬼メンタルの持ち主。宮島君がマウンドに立つ姿は圧巻で、活躍を期待したい」と話しました。



果実

秋果物の収穫最盛期です!!

暑い夏も終わり、やっと過ごし易い季節となってまいりました。収穫の秋、食欲の秋です。季節の変わり目で体調など崩さぬようお気を付け下さい。

【りんご】

シナノスイート、シナノゴールドなどの収穫期です。各品種の特徴に併せて収穫を進めて下さい。フジは着色管理が続きます。枝吊りや誘引などを終わらせ、本格的な葉摘み球回しの時期に入ります。葉の裏側を確認し、葉脈が赤く染まつてきたら紅葉が始まったしるしですので、果実全体に日光が当たるように葉摘みを進めて下さい。

気温が下がるとフラン病の胞子が舞い始めたり、ハダニが越冬虫に変化したりしてきますので、今年多発していた圃場では次年度に持ち越さぬように対策を実施して下さい。

【梨】

和梨が収穫終盤となり、洋梨が最盛期を迎えます。洋梨は収穫が早過ぎると追熟が出来ない場合が

(三郷地域宮農センター主任 宮腰 政寛)

あります。硬度や糖度、デンプン反応などを参考に適期収穫に努めて下さい。

【その他の果実】

キウイフルーツの主力品種ヘイワードが収穫期を迎えます。温暖化の影響で判断が難しくなりましたが、例年だと軽く霜が降り始めるくらいから収穫適期です。

栗や柿の中晩生種なども収穫期となります。適期収穫に努めて下さい。

自家用の果物も収穫せず残してしまつと、それらは鳥や動物の餌となり有害鳥獣の被害を拡大してしまふ恐れがありますので、収穫する(出来る)範囲での栽培を心がけましょう。

【天高く馬肥ゆる秋】

日本では「秋は過ぎし易く良い季節だ」というような意味で定着していますが、本来の意味はそれに加えて「泥棒が来るから気をつけろ」という意味もあるそうです。というわけで泥棒(有害鳥獣)対策も忘れずに……

なお、管理作業の内容などご不明な点は各宮農センター果樹指導員までお問い合わせ下さい。

水稻

稲刈りもほぼ終わり、今月より次年度へ向けての準備を始める時期となりました。

稲はケイ酸を必要としますので、土壌改良材で補うようにしましょう。秋起し又は春起し前に『土想神』を散布しましょう。本年から省力化15kgタイプになり10a当り5袋肥料によつては3袋散布し不足しているケイ酸分と微量要素を補給して、異常気象や病害虫に負けないようにしましょう。

雑草イネとは?

雑草イネの玄米は「赤く赤褐色」なので、「赤米」とも呼ばれていますが、脱粒性(穂にさわたただけで、籾がポロポロとこぼれ落ちます)が高く、いったん水田に落ちると、耕起等の作業で全体に広がるため、防除を難しくしています。

◎年内の対策

【発生圃場を特定する】

籾摺り等の作業の際に製品をよく確認して、雑草イネがあるか確認し、稲刈り日等から発生圃場を特定して下さい。

【秋起しをしない】

圃場に落ちた籾は秋起しをしない事で、冬の間の凍結や鳥類の損食で密度を減少させることができます。一旦起こしてしまつと、雑草イネが土の中に入り、長期間生存してしまいます。

◎次年度からの対策 耕種的な対策

・機械に付着した泥と一緒に種子が他の圃場に広がるのを防ぐため、雑草イネ発生圃場の作業は一番最後にまわし、作業機(トラクタ、田植え機等)は必ず洗浄をしましょう。できれば洗浄ポンプを携行し、圃場の移動ごとに洗浄してください。(作業機の足回りについていた雑草イネの種子が拡散するのを防ぐため)。

・田植え後、畝間や株間に生えている「こぼれ苗」は、雑草イネかもしれない。抜き取りを行いましょう。「こぼれ苗」を抜き取ると、株の根の付け根には、籾殻が残っており、籾殻の中には玄米の皮が残っています。この色が「黒紫く黒」なら、雑草イネと判断できます。

除草剤体系

・雑草イネに効果のある成分を含む除草剤の体系防除をしましょう。(一剤だけでは抑えられませんが)JAあづみでは、3回処理体系をお勧めしています。

雑草イネは籾が脱粒しやすく、除草剤で防除できなかった株を放置しておくとし、稲刈り前に籾が圃場に落ち次年度の発生要因となります。6月と出穂期の2回、雑草イネと疑わしい株は全て抜き取りましょう。

雑草イネ発生圃場では3〜4年間は継続して対策に取り組みましょう。

ご相談・お問合せは各地区指導員へお願いします。

(穂高地域宮農センター係長 下田 裕貴)

そ菜

玉ねぎ定植準備

10月下旬から11月にかけて定植時期となります。この時期の降雨は定植が遅れ、活着不良による凍み抜けが発生することがあります。早めの圃場準備を行い、適期に定植を行えるように計画をたてましょう。

◆圃場準備

水田後作1年目は、苦土石灰を10a当たり100kg散布し、酸度の調整をしましょう。また稲株、わらなどが残っていると定植がうまくできないため、圃場を丁寧に起こし、大きな稲株や石などは拾っておきましょう。機械定植の方は特に注意が必要です。

◆定植

植え付け本数は1a当たり約4000本です。定植時の苗の植え方が深すぎると、欠株が多くなり、結球期に入ると肥大不良となりますので、浅植えにすると越冬前の

凍み上がりなどの寒害を受けやすくなりますが、結球期に入るのが早くなり、肥大は良好です。根張りを十分にさせるには活着してから少なくとも15日～20日以上必要のため、定植適期は平均気温が12℃の時が目安となります。越冬前にしっかりと根を張らせることで凍抜けを防止し、越冬後も十分な生育量を確保することに繋がります。覆土した土を足で鎮圧すると凍上がり対策になります。

定植後は雑草対策として除草剤を散布しましょう。

除草剤名

ゴーゴサン細粒剤F	10a	1回
トレファノサイド粒剤2.5	5kg/10a	2回以内
ボクサー	500ml/10a	2回以内
モーティブ乳剤	400ml/10a	1回

以上の除草剤は草が生えるのを抑えるタイプの除草剤（抑制剤）です。雑草が生える前に処理すること、また適湿な土壌に均一に処

理することが効果的です。

◆タマネギ貯蔵中の障害について

玉ねぎの収穫後、貯蔵中に症状が現れる病害が問題になっていきます。圃場での感染が原因なので付けに向けて十分な対策をお願いします。

・すべての病害に共通した対策としては、輪作、特に水田との輪作が効果的です。
今年多く問題となった乾腐病は力ビが原因で比較的高温で発生が増えます。

①乾腐病（カビ）

根元、根が褐変腐敗し、根元に白色のカビが生えます。根元から内部に向かって逆V字型に腐敗が進み、生育期間中には、片側が腐って湾曲したようになり、ひどい場合は外側だけが残ったように枯死します。貯蔵中に発生する株は生育後期～収穫期に感染している場合が多くなります。

病原菌は長期間土壌中で生存するので、連作は避け、可能であれば水田化します。

過去に出た圃場へ栽培する場合は

以下の対策を実施します。

・フロンサイド水和剤、フロンサイドSCの定植時根部浸漬
・トリフミン水和剤、ベンレート水和剤を定植前の苗箱への灌注

②灰色腐敗病（カビ）

苗床から収穫まで感染します。軽い場合は収穫時まで生育しますが、収穫時までに外側の鱗片が割れたようになりますので、その畑では注意します。収穫時にわからなくても貯蔵期間中に病気は進んで、肩が腐敗し陥没します。春の肥大が始まってからの防除が重要です。

③腐敗病（細菌）・りん片腐敗病（細菌）

圃場で感染し、貯蔵中はりん片数枚が黄褐色に腐敗しますが、球全体が腐敗することはありまないので発見はしにくいです。
※詳しくは各地域営農センター又は、各地区担当指導員までお問い合わせください。

（穂高地域営農センター 古川 翔大）

9月
2日

25年産米「コシヒカリ」1等米判定 猛暑の被害に懸念も順調な生育

安曇野市のJA北部低温農業倉庫で、県内JAで初の2025年産米「コシヒカリ」の初検査を行いました。この日までに集荷した336袋(1袋=30キロ)をJAの農産物検査員が品質を確認し、全量を1等級と判定しました。

検査は農産物検査員が8月下旬に収穫された米袋を穀刺しで玄米を抜き出し、黒い皿の上にのせ目視で確認し、コシヒカリ1等米の基準である整粒歩合70%以上、目標水分の14.5%を満たしたため、検査員は次々と米袋に「1等級」を示す印をつきました。

JA管内では「コシヒカリ」の収穫は9月中旬から収穫のピークを迎え、10月上旬頃まで続きます。検査は10月中旬までを見込んでいます。

8月
21日

初摺調製講習会 生育前進で早めの収穫準備を呼びかける

管内の各会場で初摺調製技術者講習会を行いました。有明・北穂高地区を対象に穂高会館で開いた講習会には、水稻生産者やJA職員、全農長野、県松本農業農村支援センターら約100人が参加しました。

今年は高温の影響で生育が進み、管内のコシヒカリとあきたこまちは平年より7～8日ほどはやく出穂期を迎えました。高温による白未熟米や胴割れ米などが心配されるものの、作柄は良好。高温障害による品質低下を防ぐため、出穂後3週間の灌水や、早期落水は避けること、早めの収穫準備と計画的な収穫作業を呼びかけ、昨年を上回る集荷を目指します。

25年は約20万俵(1俵60キロ)の集荷の予約を受けています。

9月
5日

市内の給食センターの見学会を実施 安曇野産の食材をこどもたちへ

安曇野市とJAあづみ総務課組織くみあい員センターは、安曇野市中部学校給食センターの見学会を行いました。市と青壮年部員との懇談会が行われた際に、同部員から給食センターの見学をしたいという要望があり実施が決まりました。市と給食センター、生産者、JAが連携し給食を通じて、地産地消の推進を図ることが目的で、センター側にとっては農家の現状や苦勞を理解する機会となり、生産者側は農産物を納品した後の流れを知る貴重な場となりました。中部学校給食センターの吉田真奈栄養教諭は「生産者と給食センターが双方を知ることで、より地産地消が進むきっかけになれば」と話しました。

8月
25日

安曇野市で主食用米「コシヒカリ」の収穫始まる

安曇野市豊科高家の宮澤幸司さん(54)の田んぼで主食用米「コシヒカリ」の収穫が市内トップで行われました。10月上旬ごろまでに受託分も含め45haを収穫する予定になっているそうです。JAあづみ宮農経済事業部米穀課によると25年産は、高温による胴割れ米や高温障害、カメムシによる斑点米等が心配されるものの作柄は良好。宮澤さんは「高温障害などの心配はあったが、概ね順調に育ってくれた。安曇野のお米を全国の皆さんにもぜひ味わってほしい」と話しました。

9月
4日

リンゴ「サンつがる」を小学校6年生へ贈呈「生産者の顔」を知る機会に

JAあづみ販売開発課と青壮年部は、安曇野市農政課と連携した取り組み「お弁当の日」に併せて、同市の穂高西小学校6年生70人に市内の生産者が育てた旬の「サンつがる」2箱(1箱=36玉)を提供しました。

同日、同校では初めての食材贈呈式と出前講座が開かれました。青壮年部員でリンゴ生産者の伊藤孝典さんと大倉健太郎さんが参加し、伊藤さんと大倉さんはリンゴの管理や生育について説明をしました。同市では2021年から市内の小中学校17校で、各校で設定される「お弁当の日」を行っています。25年度はうち7校に玉ねぎやリンゴなどの安曇野産農産物を提供する予定です。

8月
27日

JAあづみ年金クラブ「マレットゴルフ大会」

JAあづみ年金クラブ会員を対象に、安曇野市で「第7回JAあづみ年金クラブマレットゴルフ大会」を開催しました。猛暑のなか、真剣勝負の熱戦が行われ団体戦では小倉支部が制し、個人戦では男性の部が古屋俊明さん(小倉)、女性の部が山崎秀子さん(豊科)が優勝しました。

同大会は、年金クラブ活動の支援とともに、会員同士の相互交流を図ることを目的に毎年開催されています。各地区から選抜された14地区、54人が参加し、木や芝などのコースに苦戦しながらも、互いにアドバイスをしながらにぎやかにプレーが行われました。

受賞者は以下の通り。カッコ内は地区名。

- ▽団体戦の部 準優勝=豊科支部 3位=烏川支部
- ▽個人戦の部 男性 準優勝=平澤勝利さん(豊科) 3位=若松榮さん(三田)
- 女性 準優勝=白澤裕美さん(明盛) 3位=内田順子さん(豊科)



大切に育てたお米を手刈りで収穫 食や農への関心深める

安曇野市立豊科東小学校5年生35人が、同校に隣接する6アールの田んぼで「コシヒカリ」の稲刈りとはぜかけ作業をしました。同JAが展開する食農教育「あぐりスクールサポート事業」の一環で、苗や肥料などを無償で提供しています。JAあづみの理事やボランティア、保護者らが鎌の使い方を指導し、児童らは黄金色に実った稲穂をつかみ、鎌で根本を刈り取り、5束ずつ縄でしばったあと、はぜにかけました。

はぜかけした米は、10日ほど乾燥させ機械で脱穀し、校外学習のキャンプやPTAも交えた「収穫祭」で味わう予定です。



子育て世代を対象にライフプラン作り開催 10年後を見据えるきっかけに

JAあづみ金融共済事業部共済課は、子育て世代を対象にした「家族のためのライフプラン作り入門編」を安曇野市本所で開催し、管内在住の親子やJA関係者ら約20人が参加しました。本講座ではいつ、どのくらいの資金が必要になるのかといった漠然とした悩みや不安を、見える化するために、配布されたテキストを使用しながら将来のライフプラン作りを行いました。講師を務めた家の光協会の當間洋幸さんは「ライフプランの完成を目指すのではなく、未来のために計画を立てることが大切」と呼び掛けました。参加者たちは講師のアドバイスに耳を傾けながらライフプラン練習シートに、家族一人一人の夢やイベントを10年間に渡し、書き入れました。



みどりの農業園芸講習会 寄せ植え教室開催

JAファームみどりの店でみどりの農業園芸講習会の講座「寄せ植え教室」を開きました。応募していただいた5人が参加。職員のアドバイスを受けながら色とりどりの花を植えました。植えたのは、季節の花でもあるコスモスやジュズサンゴ、ダイアンサス、ブラキカム。その他にも花の特徴や、今後の管理方法などを学びました。

みどりの農業園芸講習会は、新たな農業への挑戦と多様な担い手の確保を目的に開催しています。初心者向けのスタートコース、技術向上を目的とするステップアップコースがあります。次回は11月21日(金)にスタートコースで王子コンテナ株式会社長野工場見学を予定。応募はみどりの店に直接ご来店いただき受講料(200円)のお支払いと一緒にお願いいたします。なお電話でのお申し込みはできませんのでご注意ください。



信州の伝統野菜「牧大根」の種まき 伝統を守り続けて節目の20年

県の「信州の伝統野菜」に認定されている「牧大根」(信州地大根)の普及に取り組むJAあづみ女性部西穂高支部の牧大根プロジェクト(=降旗房子代表)は、安曇野市穂高牧の畑で種まきをしました。同支部は、明治時代から地域で親しまれてきた「牧大根」を次世代へ伝え守っていこうと2006年にプロジェクトを発足し、今年で20年目の節目を迎えました。メンバーやJA職員ら17人が、手押し播種機「ごんべえ」を使い地元農家から借りている畑23㌥に、畝幅を60㌥ほどあけながら種を播きました。メンバーの熊井悦子さんは「メンバーたちと力を合わせて20年の節目を迎えることができた。これからもこの伝統を守り続けていきたい」と話しました。



あぐりキッズスクール(水稻コース) 稲刈りからはぜ掛けを体験

JAあづみは「あぐりキッズスクール(水稻コース)」で稲刈りを行いました。参加者は黄金色に実った稲を一束ずつ鎌で刈ったり、はぜ掛け作業を体験。この日は、オリエンテーションを行った後、同市のコメ農家、青柳聡さんの圃場で、5月に植えた「コシヒカリ」を収穫しました。田植えから約4か月間、水管理や草刈りなどの管理作業を行った青柳さんは「農作業体験を通じ、いずれ農業に興味や関心を持ってもらえたら嬉しい」と話しました。実際に作業を体験した親子は「どの作業も初めてでとても新鮮だった。刈り取ったお米を食べるのが楽しみ」と笑顔で話しました。



安曇野産「豊水」選果始まる 食味良好で豊作傾向

JAあづみは安曇野市三郷小倉のJA小倉選果所で梨の中生種「豊水」を初選果しました。2025年産は10,000ケース(1ケース=10キロ)を開東や関西、九州方面に出荷する予定です。25年産の生育状況は、雨量不足の影響でやや小玉傾向となりましたが、食味は良好でみずみずしく豊作傾向。選果前に開いた目揃い会では、小林将士宮農指導員が選果スタッフに大きさや形状、色などによる見分け方を伝えました。選果スタッフは目視で色目やキズ、スレの有無を確認し選果レーンに流しました。その後に機械センサーが大きさを判定し「秀」と「優」の2等級に分けて箱詰めしました。小林宮農指導員は「酷暑にも負けず丹精込められたあづみの産豊水を多くの方に食べてもらいたい」と話しました。

JAあづみフォトコンテスト受賞者発表



家族のチームワーク
古畑 良夫 さん
(撮影場所：安曇野市三郷)



青空を泳ぐ
下田 忠寿 さん
(撮影場所：安曇野市堀金)



チームワーク
鈴木 清文 さん
(撮影場所：安曇野市穂高)



**わたしガンバッタ！
おにぎりたのしみ**
藤松 新平 さん
(撮影場所：安曇野市)



春賞

園児が見る

下田 忠寿 さん

(撮影場所：安曇野市豊科)



夏賞

じゃがいもに夢中

吉田 良子 さん

(撮影場所：安曇野市豊科)



秋賞

夏秋いちご収穫

林 春男 さん

(撮影場所：安曇野市穂高)



冬賞

いざ!三九郎

吉田 良子 さん

(撮影場所：安曇野市豊科)



市民
タイムス賞

安曇野、美しき大地

野村 倫直 さん

(撮影場所：安曇野市堀金)



農協
観光賞

拾ヶ堰と桜

竹内 良久 さん

(撮影場所：安曇野市三郷)



日本農業
新聞賞

お田植え祭

大学 肇 さん

(撮影場所：安曇野市三郷)



JA
共済連賞

小さな手に大きな実り

吉田 良子 さん

(撮影場所：安曇野市豊科)

佳作

- りんごの木 冬収穫……西山 房子さん
(撮影場所：安曇野市三郷)
- 野焼き……林 春男さん
(撮影場所：安曇野市穂高)
- 安曇野冬景色……下田 忠寿さん
(撮影場所：安曇野市豊科)
- 夫婦仲良く……西山 房子さん
(撮影場所：安曇野市三郷)

9月
18日

～創立60周年記念事業～

JA あづみ 2025 フォトコンテスト 審査会

102点のなかから受賞者が決定



▲厳正な審査が行われました

JA あづみは本所で創立60周年記念事業の「JAあづみ2025フォトコンテスト」の審査会を開催しました。今年で32回目。厳選な審査の結果、102点の応募作品の中から、60周年記念特別賞に下田忠寿さんの「青空を泳ぐ」、金賞に古畑良夫さんの「家族のチームワーク」が選ばれました。

審査会では、写真家や映画監督、関連団体などの外部審査員ら7人とJA 役職員合わせて16人の審査員が、色彩の美しさや写真から溢れる四季感や表現力などを採点し、60周年記念特別賞や金賞のほか、季節にスポットをあて、春夏秋冬をそれぞれ選出する安曇野季節賞、佳作など16点を選出。

当JAでは、今年度創立60周年を迎えるにあたり「国消国産」と「安曇野の伝統や文化を守り次代に繋ぐ」をコンセプトに、様々な記念事業を展開していて、同コンテストでは初の「創立60周年記念特別賞」が特別に設けられました。

同賞を受賞した下田さんの「青空を泳ぐ」の作品は、JAあづみのカントリーエレベーターを背景に、空を泳ぐ鯉のぼりが収められた構図。菜の花の上で鯉のぼりが泳いでいる躍動感や季節感、JA あづみの施設が写された点が評価され特別賞に選ばれました。下田さんは「受賞することができ大変嬉しい。時代とともに生活様式などが変化していくが、これからも昔と変わらない、いい風景を写真で残していきたい」と話しました。

金賞を受賞した古畑さんの「家族のチームワーク」では、雪解けの常念など北アルプスを背景に田植えをしている家族が写された構図。冬を象徴とする山々と、田植えをする人物の動きが伝わりいきいきとしていて、絶好のタイミングでシャッターを切れていると評価されました。古畑さんは「周りの人にいい写真と言われていたため受賞してとても嬉しい。4年前から20年ぶりに写真を再スタートし、今回の受賞が励みになった。これからも写真を撮り続けていきたい」と話しました。

創立60周年記念特別賞や金賞のほか、入選した作品は同JAの2026年度のオリジナルカレンダーやホームページなどで使用する予定です。

第54回大生活祭

と き

11月7日(金)～8日(土)

午前9時～午後4時

11月9日(日)

午前9時～午後3時

ところ

JA あづみ総合事業基地 JAファームみどりの店
ファミリーマートJAあづみ烏川店

農産物・家電製品・農業機械・農業資材 など特価販売!!

記念品引換券は、11月4日(火)～6日(木)の組合員宅訪問日の期間中にお配りします。

みどりの農業園芸講習会開催のお知らせ

新たな農業への挑戦と多様な担い手の確保を目的に下記の通り講習会を開催いたします。

定員：20名

講習内容	日時	場所	受講料
王子コンテナ株式会社社長野工場見学	11月21日(金)	王子コンテナ株式会社社長野工場	200円
ネット・防草・マルチの使い方をマスターしよう	12月13日(土)	みどりの店会議室	200円

※電話でのお申し込みはできませんので、ご了承ください。

お申し込みは、みどりの店へご来店頂き、受講料のお支払いと一緒にお願いいたします。

なお、各講習とも定員になり次第、締め切らせていただきます。



【お問い合わせ先】 JA ファームみどりの店 ☎ 0263-73-7667 営業時間 8:30～17:00

ATMなどのサービスの一時休止について

いつも JA バンクをご利用いただきありがとうございます。

このたび JA バンクはお客様へのサービスや利便性の向上を目的としたシステム更改に伴い、誠に勝手ながら ATM・JA ネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。

ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

休止日	休止時間	休止するサービス(※)
令和7年10月18日(土)	21:00～24:00	全取引休止
令和7年10月19日(日)	00:00～08:00	全取引休止
令和7年10月25日(土)	15:00～24:00	一部取引休止(県内JAのATMとJAネットバンクはご利用可能)
令和7年10月26日(日)	00:00～12:00	一部取引休止(県内JAのATMとJAネットバンクはご利用可能)
令和7年11月8日(土)	15:00～24:00	一部取引休止(県内JAのATMとJAネットバンクはご利用可能)
令和7年11月9日(日)	00:00～12:00	一部取引休止(県内JAのATMとJAネットバンクはご利用可能)

(※) 休止するサービス：JA バンクのATM、コンビニ等のATM、JA ネットバンクサービス、JA バンクアプリ、JA バンクアプリプラス、ジェイデビット等

現金のお引き出しはお早めに

お客様にはご不便をおかけし誠に申し訳ございませんが、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

※ JA・店舗・ATM・提携金融機関によっては、ご利用可能日、ご利用可能時間およびご利用可能サービスが異なるため、上記スケジュール以外にもサービスをご利用いただけない場合がございます。詳しくは、窓口・ホームページ等でご確認ください。

令和7年度 地区別総代懇談会開催のお知らせ

令和7年も半期が過ぎました。そこで、これまでの事業経過を報告申し上げるほか、新たな事業対策や次年度計画に総代の皆様のご意見を反映させて頂くため、次の日程で地区別総代懇談会を開催しますので、ご出席をよろしくお願い致します。

【開催日】 令和7年10月18日(土)

班	開催時刻	参集支所	会 場	役員
第一班	9時30分	梓川（大野川・奈川）	奈川ふれあいセンター	宮澤代表理事 組合長
	13時30分	梓川（倭・梓・島々）	梓川支所	
第二班	9時30分	堀金（烏川・三田）	堀金支所	内田代表理事 専務理事
	13時	三郷（明盛・温・小倉）	三郷農村環境改善センター	
第三班	9時30分	穂高（有明・北穂高）	有明出張所	相馬常務理事
	13時	穂高（穂高・西穂高）		
第四班	9時30分	豊科（豊科・南穂高）	本所（大会議室）	降旗常務理事
	13時	豊科（上川手・高家）		

相談
無料


葬儀・法事 なんでも相談会



葬儀の疑問なんでもお気軽にご相談下さい
お客様の不安を一緒に解決いたします

日時 10月16日（木） 9時～15時

場所 JA虹のホールあずさがわ 〒390-1701 長野県松本市梓川倭702-4

● ご相談特典

虹のホールオリジナル
エンディングノート
&
粗品プレゼント



● セレモニー 会員当日入会特典

粗品プレゼント
進呈



● ご自宅への訪問相談 承ります

ご連絡いただき
ご指定の日時に
お伺いいたします



JAあづみから大切なお知らせ

⚠ お米の需要が高まり、お米の盗難被害が増えています

お米盗難注意!!



お米の収穫時期が狙われやすい！
鍵のかかる場所でお米の保管徹底を！

～個人でできる防犯対策～

- * 保管倉庫の窓や出入り口等の施錠の徹底を心掛けましょう。
- * 防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
(防犯カメラ作動中を知らせる警告ステッカーや張り紙等も効果的です)
- * 見回りを実施し、不審な人物・車両を見かけた場合はためらわず 110 番通報しましょう。
- * 定期的に保管している米袋の数を把握しましょう。

JAあづみ

あしたへの あんしん

デイサービス
あんしんの里
楡

毎年恒例の楡の夏祭りが行われました。今年は踊りのボランティア「ゆりの会」の方々をお招きしました。素敵な着物姿で来場されたので、利用者様より歓声が上がりました。炭坑節を輪になり、利用者様も一緒に踊って一体感を味わいとても盛り上がりました。

その後、昼食はバイキング形式で行い、自分で好きな物を食べただけ取りに行きました。利用者様のワクワクが伝わってきて、皆さんとても良い笑顔でした。また、縁日では射的ゲームを行いました。おもちゃのピストルで景品のジュースを狙いましたが、いつもと違うゲームにこちらも盛り上がり、楽しい夏祭りになりました。



デイサービス
あんしんの里
南穂高

8月中旬から下旬にかけて、毎年恒例になっている夏祭りをデイサービスの施設内で行いました。

今年は、午前に的当てゲームやヨーヨー釣りなどを行いました。的当てゲームは、今年初めて考案したもので、1人ずつ順番に前に出て点数をめがけて打ちました。利用者の方もあまり経験がなく、「難しいね」「なかなか狙った所に当たらないよ」と感想を話し合っていました。

午後は、みなさんと職員も一緒になって安曇野囃子・炭坑節を踊りました。踊りは久しぶりだったので、最初は「分からないよ」と言っていたのですが、曲が鳴り出すと思い出して元気一杯盛り上がっていました。後で話を聞くと「とても楽しかったよ」と満足していました。



年金相談室

年金の専門家（社会保険労務士または年金相談員）
がわかりやすく相談に応じます。

夜間や週末も開催しております。お仕事帰りやお
休みの日にもお気軽にお越し下さい。

日	時	場 所
10月15日(水)	17:00~19:00	梓川支所
10月16日(木)	17:00~19:00	有明出張所
10月18日(土)	10:00~16:00	穂高支所
10月18日(土)	10:00~16:00	堀金支所

家族で楽しむおいしい一皿

料理研究家 和田麻紀子

うまみを逃さない調理法で、秋の味覚を丸ごといただきます！

ゴボウとキノコのきんぴら



ニンニクと一味唐辛子を
入れて食欲そそる1品に

ポイント

キノコのうま味を出して風味
豊かなゴボウに吸わせること
で、うま味を逃さず楽しめます。
ちなみに韓国にもウオン
チョリムというきんぴらごぼ
うがあります。

材料(4人分)

ゴボウ……………1本 砂糖……………小さじ 1
好みのキノコ……………150g 塩……………1つまみ
(シメジ、マイタケなど) しょうゆ……………小さじ 1
ニンニク(みじん切り)……………1/2片 オリーブ油……………大さじ 1/2
酒……………大さじ 1 一味唐辛子……………適宜

作り方

- ① ゴボウは流水で泥を落とし、斜め薄切りにしてから千切りにし、水にサッとさらして水気を切っておく。シメジは石突きを落とし、マイタケはばらしておく。
- ② フライパンにオリーブ油を引き、ニンニクを入れて中火にかける。香りが出たら①と酒、砂糖、塩を入れて混ぜ、ふたをして弱火で4分加熱する。
- ③ しょうゆを入れて水分を飛ばしたら出来上がり。お好みで一味唐辛子を振っていただく。

アレンジ

- 細かく刻んで塩ざけと一緒にご飯に混ぜる
- 牛肉やキュウリなどと一緒に太巻きにする

CROSSWORD PUZZLE パズル

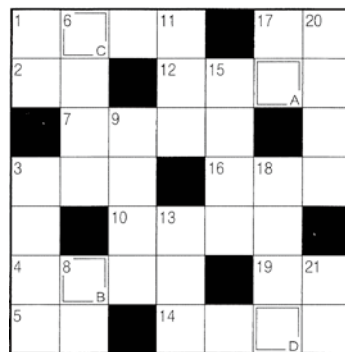
タテのカギ

- ① お代はいただきます
- ③ 転職をしたいが、いざとなると——を踏んでしまう
- ⑥ 金箔の生産量第1位の市がある都道府県
- ⑧ 皿を数えるときに使う言葉
- ⑨ あえるとパスタが黒くなります
- ⑪ 落ち葉をかき集める道具
- ⑬ ハロウィーンの日を楽しむ人もいます
- ⑮ 役場で——証明を取ってきた
- ⑰ 薪割りに使う刃物
- ⑱ 事件はあっけない——を迎えた
- ⑲ 写生をこうもいいます
- ⑲ 動物や鳥などの集団

ヨコのカギ

- ① 10月の第2月曜日はスポーツの日。以前は——の日でした
- ② 祭りのときに引く車
- ③ ——雨だよ、すぐに止むさ
- ④ 塩分濃度は低め、麴の割合は高めな味噌
- ⑤ ドングリがなる木の一種
- ⑦ 彼女は免許——の腕前だ
- ⑩ 悪臭を放つことで知られる動物
- ⑫ 傘がたくさん重なった形の食用キノコ
- ⑭ ハワイアン演奏にも使われる弦楽器
- ⑯ 玄関の上がり——に腰かけて話した
- ⑰ 秋にもおいしい紫色の野菜
- ⑲ 教育、勤労、納税は国民の三大——です

Q. 二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



(JA広報通信より引用)

応募ハガキの記入方法

(皆様の声をお寄せ下さい)

85 399-8283 安曇野市豊科
JAあづみ 四二七〇一六
マイレ編集委員会

① クイズの答え
② 郵便番号・住所
氏名・年齢・職業
電話番号
③ JA・広報誌への
ご意見、日頃の
出来事など

応募締切
10月20日(月)必着

正解の中から抽選で3名の方に、JAまごころ商品券(1,000円分)をプレゼントします。
(毎月20日頃発送)

A.9月号の答え



解答

A B C D E
① ツ ② カ ③ セ ④ イ

応募総数 29 通

当選者 安曇野市 保高さん
安曇野市 太田さん
安曇野市 山岸さん

JAファームみどりの店

おすすめ肥料

10月下旬から玉葱の定植期です。今から準備して、適期に定植行いましょう



ねぎ・玉ねぎ専用肥料(元肥)

40～50日の間に少しずつ溶けるチッソ(LP 尿素)入りで、肥効が長期間持続します。



有機堆肥

牛ふん+樹皮堆肥を丹念に発酵処理。土壌がやわらかくなり、保水性・透水性・通気性が良くなり、健全な土壌に返ります。



苦土石灰

苦土炭カルに腐食酸(アヅミン)を混合し、石灰を下層まで分散、浸透しやすくしたものです。

今月の星占い



牡羊座 (3/21～4/19)

揺れる心境の中で考えることが多いそう。その思案は無駄ではありません。下旬には良い答えを導けるはず。冷静に



牡牛座 (4/20～5/20)

気にし過ぎは禁物。マイペースで進めれば安泰です。うまくいかないときは基本に戻り、手順を見直してみよう



双子座 (5/21～6/21)

勢いがあり多少の無理なら通ります。時には強気で押してみると好結果に。レジャー運が良いので出かけを



蟹座 (6/22～7/22)

ドキリとすることがあるものの結果としては良い方向に進みます。ピンチはチャンス! 問題解決に向けて前進



獅子座 (7/23～8/22)

コミュニケーション運が上昇。いろいろな話が入ってきますが、玉石混交なので価値あるものを見極めリスク管理を



乙女座 (8/23～9/22)

順調運。秋の味覚を楽しむなど生活に彩りを添えて。レジャーもお薦めです。交渉は相手の出方を待つのが吉



天秤座 (9/23～10/23)

運勢はとてパワフルで新しいことにツキあり。やってみたかったことに挑戦を。薦められたものを試すのも吉



蠍座 (10/24～11/22)

迷っていたことの答えが見つかりそう。大変でもやってみる価値があります。相談するときは相手を選びましょう



射手座 (11/23～12/21)

趣味が新たな交友につながります。仕事の異業種交流も吉。広く浅く何でもやってみましょう。うわさ話は避けて



山羊座 (12/22～1/19)

目標達成に向けてもうひと頑張りとき。諦めずに続ければ成果が見えてきます。手抜きは禁物。時には遠回りも



水瓶座 (1/20～2/18)

味方もたくさんいますが敵も多い月。信頼できない人の話にうっかり乗らないで。厳しい助言に耳を傾ければ飛躍



魚座 (2/19～3/20)

あなたの力になってくれる人が現れます。感謝の気持ちを示して受け入れて。良いつながりができていきます

みんなの声



秋野菜の種を播きました。連日暑い日が続くので発芽が心配です。「営農メモ」が参考になります。

(安曇野市 植原さん)

らない信州の涼しさが嘘のようです。

(安曇野市 高山さん)

9月に入り風鈴をしまいました。少し早いかなとも思いましたが猛暑の夏、爽やかな音色を響かせてくれました。

(安曇野市 内川さん)

頑張つて大阪万博に行つてきました。人生2度目の万博。体力は落ちたものの興奮だけは55年前と変わりませんでした。

(松本市 木下さん)

暑い夏を何とか乗り切りました。昔のエアコンがい

9月8日の皆既月食、真夜中だったので見るのができませんでした。次は見られるといいなあ

(安曇野市 降旗さん)

編集後記

稲刈りや果実の選果など秋を感じる取材が多くなりました。我が家でも稲刈りが行われ30キロの米袋をひたすら運び込んでおりましたが、すぐに息があがってしまい体の衰えを感じました。今秋は秋の味覚を楽しみつつ、運動不足解消に努めたいと思います。(S.M)



理事会報告

〈9月30日開催〉

●令和7年度 上期事業概況及び下期経営対策について 他

スクラム

9月25日現在

●直売所「安曇野スイス村ハイジの里」登録会員 / 713

JAキャッシュカードを紛失されたときは

JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター
(365日、24時間対応)
☎ 0120-024-040

JAカードを紛失された時は

NICOS盗難・紛失受付センター
(365日、24時間対応)
☎ 0120-159-674



2025.10/1(水)～11/30(日)
会場／安曇野スイス村ハイジの里

JAあづみ創立60周年記念企画

みんなで国消国産！ 秋の大収穫祭

直売所へ行こうキャンペーン！

～安曇野の旬 美味しく食べて地産地消～



10/4(土)の9:00～は
ガンズくんがやってきます！
※午前中のみです。

キックオフイベント&米の消費拡大

10/4(土) 時間／9:00～
会場／安曇野スイス村ハイジの里

10:00～
新米の
振舞い

※なくなり次第終了となります

ハイジの里お買い上げ感謝企画

2,000円以上ご購入の方に

**新米2合 先着300名様
プレゼント！**

※なくなり次第終了となります

10/16(木) 国消国産の日

10/25(土)・26(日) 秋の収穫祭
～くだもの祭り～

餅つき企画 (JAあづみ青壮年部・女性部)

※25日(土)のみ

松本大学松商短期大学生考案のイベント

新米おにぎり振舞い

※25日(土)のみ

あづみ野エフエム 公開生放送

※25日(土)のみ

11/7(金)～9(日) 第54回 大生活祭
(サテライト会場)

11/22(土)・23(日) りんごフェア・国消国産
キャンペーン感謝祭

松本大学松商短期大学生考案のイベント

果実スイーツ振舞い

※23日(日)のみ

合計2,000円以上ご購入の方に

きのこプレゼント

※両日

※イベントの内容は変更となる場合がございます。※取材した情報や写真は、公式SNSや広報誌に掲載させていただく場合がございます。

ハイジの里のレシートを集めて
農産物をGetしよう！キャンペーン



期間中に、合計8,120円以上のレシートを
集めて応募すると、地元の農産物などが抽選で当たる！

【第1弾】10月2日(木)～10月31日(金)

【第2弾】11月1日(土)～11月30日(日)



プレゼント企画も同時開催中 SNSをチェック！！

会場

JAあづみ 大型農産物直売所

安曇野スイス村

ハイジの里

〒399-8201 安曇野市豊科穂高5566-1

TEL.0263-87-0812



あづみ農業協同組合

●スマイル／No.714 2025年10月1日発行

●発行人／宮澤 清

●編集／スマイル編集委員会 編集事務局／総務開発事業部総務課

〒399-8283 長野県安曇野市豊科 4270-6

●http://www.ja-azumi.iijan.or.jp/ ●印刷／有限会社安曇印刷



JAあづみHP



MATSUMOTO
Yamaga F.C.

JAあづみは松本山雅F.C.を応援しています